

天使の雪 氷削機 取扱説明書



有限会社 角心

◆ 機械の特徴		1ページ
---------	-------	------

◆ 機械分解図		2ページ
---------	-------	------

第1章 機械の組み立て

◆ 付属品の確認		3ページ
----------	-------	------

◆ 組み立て		4ページ
--------	-------	------

第2章 機械の操作方法

◆ 機械の準備		5ページ
---------	-------	------

◆ 氷の設置		10ページ
--------	-------	-------

◆ 氷を削る		11ページ
--------	-------	-------

◆ 氷を外す		13ページ
--------	-------	-------

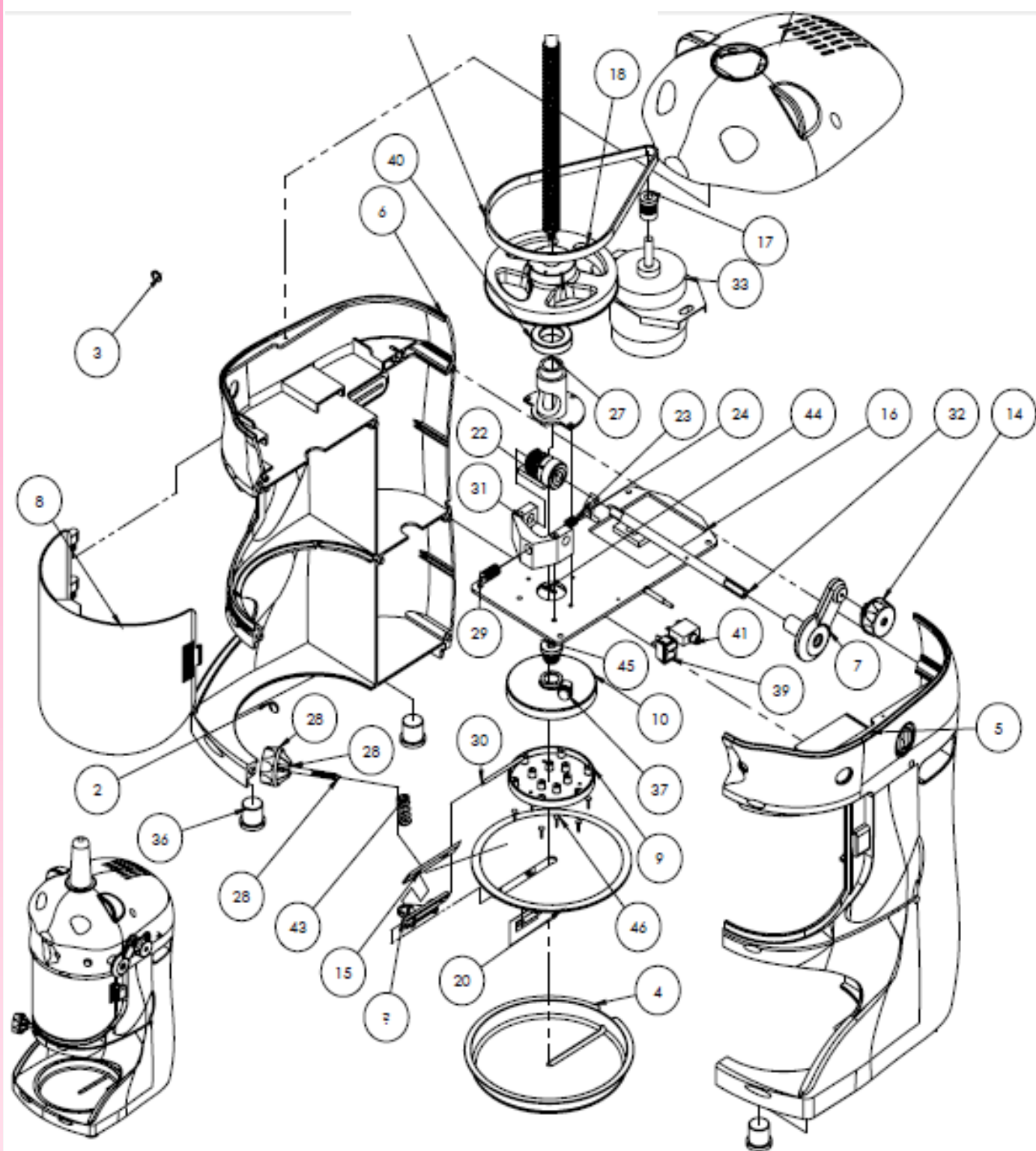
◆ 掃除		14ページ
------	-------	-------

◆ メンテナンス		16ページ
----------	-------	-------

◆ 故障かな？と思ったら		17ページ
--------------	-------	-------

- ◆ スペースを有効活用できる設計で、カウンターのスペースの無駄を省くことができます。
- ◆ 独特な形のデザインは、非常にインパクトがあり、外観が目を引きPR効果も期待できます。
- ◆ 氷を削る力に必要なトルクを備え、安全装置も付いておりますので機械を稼働する際にスムーズかつ安全です。
- ◆ 氷削り粗さを細かく調整することができます。千層の雪の花びらのようなスライスから、滑らかな口当りのよい細かさまで、微調整することができます。
- ◆ 特許を取得している特殊な氷削機の刃物及び排水プレート設計は効率のよい製造過程となっております。





◎ 第1章 ◎

機械の組み立て

1. 付属品の確認

以下のものがすべてあるかを確認します。



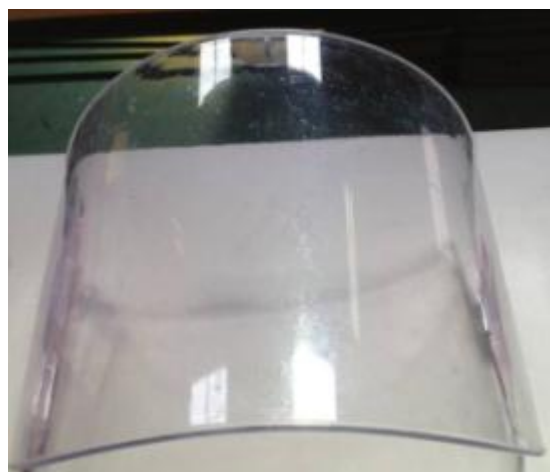
機械本体



アルミ盤 & 黒ハンドル
(機械本体に装着した状態で配送されます。)



ハンドル



シールド



ハンドルねじ



プラスチック皿

2. 組み立て

◎組立に必要なもの

・ドライバー（電動でなくてもよい）

①機械本体を平らで安定した場所に置きます。



※不安定な場所、斜めに置く、はみ出した置き方をしないようにしてください。

②ハンドルを写真の場所に取り付け、ねじをドライバーで回して取り付けます。

※強く締めすぎてハンドルが割れないように注意してください。



2. 組み立て

- ③ 仮止めしてある裏ねじ二つと黒いハンドルを回して外しアルミ板を外して洗浄します。洗浄後は再び装着いたします。



※ 手を切らないように刃の取り扱いは十分ご注意ください。

- ④ 受け皿を設置



- ⑤ カバーを取り付けて完成です。



◎ 第2章 ◎

機械の操作方法

1. 機械の準備

◆機械を平らな場所に設置します。



※ 安定している台、机の上に設置をしてください。不安定な場所では氷を削る際に台が安定せず落下、破損の原因となる場合がございます。

◆コンセントを差し、主電源を入れます。



※漏電、感電の原因になるので機械が濡れている状態、濡れた手でコンセントを差さないでください。

※アースはお使いいただくことをお勧めいたします。

1. 機械の準備

◆支柱をハンドルを使って手動で最上部まで上げます。



1. 機械の準備

◆洗淨、殺菌済みのアルミ盤が裏面の2つのビスでちゃんと固定されているか確認します。



1. 機械の準備

◆ 黒いハンドルで削り刃を寝かせアルミ板の表面より出ないように調整します。



※ 手を切らないように刃の取り扱いは十分ご注意ください。

◆ 機械下部のプラスチック板を設置します。



2. 氷の設置

- ◆殺菌済みゴム手袋を装着し、アルミ板より刃が出ていないことを確認し氷をアルミ板の中心に設置します。



※ 手を切らないように刃の取り扱い
扱いは十分ご注意ください。



※氷が飛び出す危険があるので
必ず氷をアルミ板の中心にな
るように設置してください。

- ◆上部ハンドルを回し支柱を下げて氷を固定します。



※氷を固定する際、固定が甘いと氷が飛び出す危険性があります。また力を入れすぎて支柱先の針を曲げないようにご注意ください。

3. 氷を削る

◆カバーをして上部のスイッチを入れ氷を回します。



※ 激しい振動が出る場合は氷が中心にセットできておりません。
すぐに止めて氷の位置を変えてください。

※ 撮影の為にカバーを外しております。通常はカバーをしてください。

◆黒いハンドルで刃の角度を調整しながら氷を削ります。



※写真のようにまず少し試し削りをすると状態が把握できます。

※氷を固定する際、固定が甘いと氷が飛び出す危険性があります。

3. 氷を削る

◆おいしく削るには？

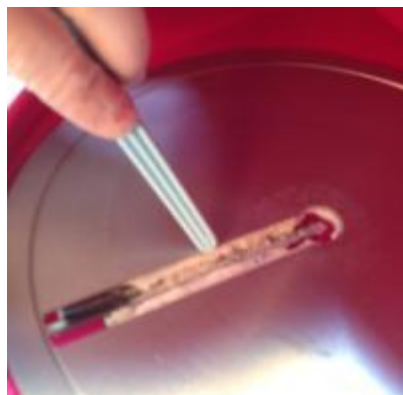
- ・削り刃の角度を変えながら細かい状態をキープして氷の皿を回して高さが出るように削ります。



※氷を固定する際、固定が甘いと氷が飛び出す危険性があります。

◆連続利用時の注意

- ・連続運転していると下記のように刃に氷が付きますので定期的に先の細いもので落としてください。



※刃で手を切らないようにご注意ください。

※モーターがオーバーヒートしないよう10分以上連続運転しないでください。

◎トッピングの仕方に関してはトッピングサンプル集をご覧ください。

4. 氷を外す

- ◆ 削り終わったら上部のスイッチを押して氷を止め、黒いハンドルで刃を寝かせます。



- ◆ ハンドルを回し支柱を上げ、カバーを開け氷を外します。



※ 刃や支柱の針で手を切らないようにご注意ください。
※ 長時間氷を装着したままにしないでください。

- ◆アルミ板を固定しているねじ(2か所)、黒いハンドルを外しアルミ板を外します。



※黒いハンドルを回すと刃が出た状態になります。
刃や支柱の針で手を切らないようにご注意ください。

- ◆アルミ板を外した後、黒いハンドルをもう一度装着し刃を寝かせます。



※刃で手を切らないようにご注意ください。
※黒いハンドルのねじ山をつぶさないように十分ご注意ください。

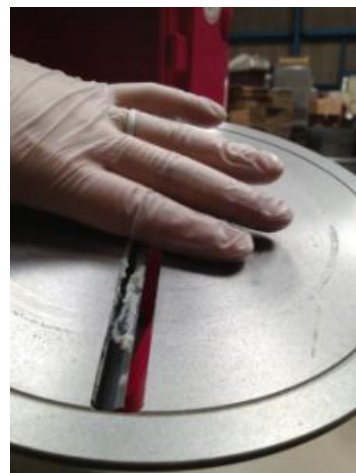
- ◆上記アルミ板、プラスチック板、下記写真の 支柱の針機械プラスチック部分をアルコールで消毒します。



6. メンテナンス

◆削り刃は3000杯(氷100個分)を目安に交換をお願いいたします。

アルミ板裏面の刃部分ねじを回し刃を交換します。



※刃で手を切らないようにご注意ください。

◆月に1回、支柱部分と黒いハンドルのねじ山部分部分にグリスを注油してください。



◆電源のスイッチを起動する際に、ライトがつかない。
起動スイッチを押して機械は動かない。

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認して下さい。
2. コンセントは通電しているか確認して下さい。
3. ご使用になる電圧は100Vかを確認して下さい、
4. ブレーカーが作動しているか確認して下さい。
5. 電源が入っていません。

◆起動スイッチを押しても、支柱が下りてこない。

1. ベルトが切れて、固定されていません、
2. 副ベルト、歯車、穴にある真ん中の棒が破損しています。

◆ハンドルがとれる。

1. ハンドルを固定した後に、固定用のねじをしっかりと締めていません。

◆氷塊を入れて、起動スイッチを押した後、クギのプレートが回っていますが、雪花が出てこない。

1. 刃物がセッティングされていません、
2. 刃物はすでに破損されています、
3. 氷は小さすぎます、
4. 電圧は不安定です。
5. 氷削粗さを調整するつまみが未だ調整されていません。

◆刃物が破損しているか否かを判断する方法

1. かき氷を作る際に、氷の落ち具合は順調ではありません、
2. 氷削粗さを調整するつまみを調整しても、氷の粗さは変わりありません。

◆漏電の際は？

1. 電源コードを抜き取って、起動スイッチを切って、電源を切って、直ちにメーカーに状況をお知らせして下さい。

◆掃除する際の注意点

1. すべての電源をOFFにします。
2. 洗浄後ねじ山部分に潤滑油をつけなければいけません。
3. 削り刃が錆びるのを防ぐために時計回りの方向でアルミ盤を拭いて下さい、